

ようこそ先輩！永井郁子先生



平成26年11月15日（土）に中央図書館で行われた「第7回三原ふるさと子ども博士講座」今年も講師として、絵本作家の **永井郁子** 先生にお越しいただきました。

永井先生の指導のもと、久井の昔話『中野の出雲岩』を10の場面に分け、それぞれのシーンにあった絵を考えて実際に絵を描くという本格的な絵本作りを体験しました。

永井 郁子 ながい いくこ

本郷町出身。

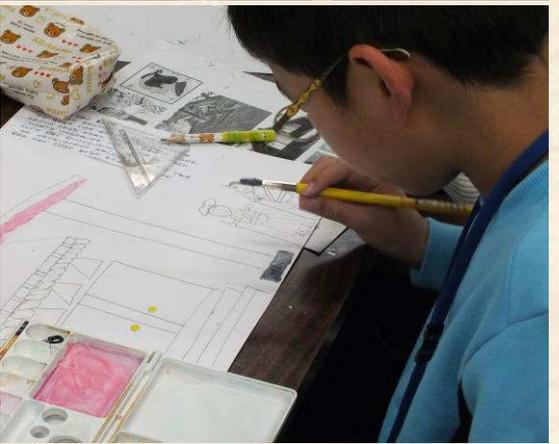
「わかったさんのおかしシリーズ」
「かいぞくポケット」など、多くの
絵本イラストを手がける。

2009年には三原市ふるさと大使
に任命され、三原の子どもたちの
ために精力的に公演を行っている。



『中野の出雲岩』

幸崎町に魚とりや商売をして暮らしている、信心深いおかあさんと息子がいました。およめさんのいない息子のために、縁結びの神様である出雲大社にお参りに行きました。お参りを済ませ、帰ろうとしましたが、おかあさんは疲れて足が痛くて動けません。そこで息子は、てんびん棒の前に出雲石を、後ろにおかあさんを乗せて帰ることにしました。帰り道、安芸の中野でおかあさんの足の痛みがなくなったので、出雲石を置いて帰りました。家に帰ってから、親子には次々といいことがあり、息子におよめさんも見つかりました。正月に久井稲荷にお参りする途中、去年置いた中野の出雲石を見ると、恐ろしく大きくなっていました。それからというもの、お参りに来るたび出雲石は大きくなっていきました。まるで親子の家が大きくなるにつれて石も大きくなるかのようでした。



第Ⅲ期
三原ふるさと子ども博士講座